



2020-21 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「伝統承継と変革」

Succession and reformation of traditional

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

Rotary



RI会長：ボルガー・クナーク 2800地区ガバナー：齋藤 榮助 ガバナー補佐：伊藤 三之

会 長：菊地 賀治 幹 事：鉄 浩二 会報・史料委員会 委員長：佐々木啓充

委 員：金田 亮一 丹野 善将 鈴木 宏之 斎藤 伸治 那須 尚平 片岡 佳彦 本間 安信 佐々木健一 熊谷 一幸

第2315 回例会

2021-6/15 (火) 天気(曇り)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM12:30 菊地 賀治 会長

□司会進行 (SAA)：金田 亮一 君

□ロータリーソング：「我等の生業」

会長挨拶



皆さんこんにちは。先週、山形市内で真夏日を観測しました。皆さん、暑さとコロナワクチン接種が重なり体調等崩していませんか？日々暑くなりますので、健康に留意して過ごして頂ければと思います。

先週は、平清水焼きの七右工門窯さんを会場にした職場訪問例会でした。皆さんと思い存分、気分は一流陶芸家になった気分で作品作りを行いました。もう既に、早く手元に届かないかと私は心待ちにしています。職場訪問例会の設営を担当頂きました、金子職業奉仕小委員長細部に渡るまで段取りをして頂き誠にありがとうございました。

ここで、本日のゲストをご紹介します。6月定例会議開催前、そして本日からビッグウイングにて山形市内在住高齢者に対するコロナウイルスワクチン集団接種が開始され、公務のお忙しい中に山形南ロータリークラブにお越し頂きました。我々が、佐藤孝弘山形市長です。本日は、市政の話なども含めお話をさせて頂けるとの事で会員一同楽しみにお待ちしております。今年の1月25日には、山形市立病院済生館内にある病児・病後児保育室ひなたぼっこ並びに小児科病棟保育室に絵本や知育玩具を、当クラブから地区補助金を用いて寄贈させて頂きました。その際にも、

佐藤市長からは多大なるご尽力を賜り誠にありがとうございました。クラブを代表し感謝申し上げます。本日は宜しくお願い致します。

続きまして国際ロータリー第2800地区ガバナー補佐 伊藤三之さんです。例会終了後の、クラブ協議会にもご参加頂きます。長時間に渡りますが宜しくお願い致します。

皆様にご連絡させて頂き致します。山形南ロータリークラブは、山形北ロータリークラブさん、後に山形イブニングロータリークラブさんと約30年間に渡りALS山形県支部に対し、チャリティーゴルフコンペを開催し毎年寄付を実施して参りました。新型コロナウイルス感染症の関係等もあり、今年度からチャリティーゴルフコンペを休止し、新たな寄付活動の模索も行っていますが、残念ながら新型コロナウイルス感染症が収まってからの動きになると思います。当クラブでは、チャリティーゴルフコンペ開始時期から金森バスト会長・武田寿美男バスト会長・金子バスト会長・寺崎バスト会長が中心となり牽引頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。来週22日の例会時に、山形南ロータリークラブ社会奉仕委員会が中心となり、ALS山形県支部に些少ではありますが寄付をさせて頂きまして報告いたします。今後も、皆様からご理解を頂き当クラブの奉仕の柱として実施して行きたいと思っております。最後になりますが、我々はいつもと変わらず、新型コロナウイルス感染防止の為手洗い、うがい、消毒を励行して参りましょう。

幹事報告

鉄 浩二 幹事

1. この後、クラブ協議会を開催いたします。各委員長、報告等よろしくお願い致します。

◇ビジター ガバナー補佐 伊藤 三之 さん (山形北RC)



伊藤三之ガバナー補佐(山形北RC)よりご挨拶頂きました。



当クラブの菊川 明君が春の叙勲で旭日小綬章の栄誉を授けられました。菊地会長からお祝いを贈呈いたしました。



米山奨学生のチョウ・ゲツさんに奨学金の贈呈。

委員会報告

■ニコニコBOX 奥村 健二 君

菊地 賀治君 佐藤市長本日の卓話宜しくお願いいたします。
大久保章宏君 佐藤市長一昨年はありがとうございました。

本日は、卓話宜しくお願いいたします。
浅野 裕幸君 佐藤市長、弟がお世話になっております。ありがとうございます。

長沢 一好君 佐藤市長本日はありがとうございます。

菊川 明君 叙勲のお祝いありがとうございました。

伊藤 三之ガバナー補佐 例会に参加させて頂きました。ありがとうございます。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月 曜 日

山形西 山形イブニング

火 曜 日

山形中央

水 曜 日

山形

木 曜 日

山形北

金 曜 日

山形東



『これからの山形市政について』

山形市長 佐藤 孝弘 氏

新型コロナウイルス感染症への対応について

【経緯】

- 令和2年1月30日 国：閣議決定に基づく政府対策本部を設置
 2月 3日 市：山形市新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を設置
 2月 6日 市：山形市新型コロナウイルス感染症対策本部（法定外）を設置
 2月 6日 市：山形市新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議（第1回）開催
 3月 3日 市：市立小・中・高等学校の臨時休校実施
 3月 26日 国：「新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法」に基づく政府対策本部を設置
 3月 31日 山形県内1例目の感染者を確認
 4月 6日 市：山形県と連携した「受付相談センター」を開設
 4月 7日 国：7都府県を対象として緊急事態宣言を発令（対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県）
 4月 8日 市：緊急事態宣言の発令に伴い特別措置法に基づく対策本部に移行
 4月 9日 山形市内1例目（山形県内27例目）の感染者を確認
 4月 16日 国：緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大
 5月 25日 市：緊急事態宣言解除に伴い特別措置法に基づく対策本部から市独自の対策本部に移行
 7月 1日 市：「受付相談センター」を増設し、「一般相談センター」を新設
 令和3年1月 7日 国：4都府県を対象に緊急事態宣言を発令（対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
 1月 8日 市：緊急事態宣言の発令に伴い特別措置法に基づく対策本部に移行
 1月 13日 国：緊急事態宣言の対象地域を11都府県に変更（対象：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、大阪府、兵庫県、京都府、愛知県、岐阜県、福岡県、栃木県）
 3月 22日 国：緊急事態宣言を解除
 3月 22日 山形県・山形市「緊急事態宣言」を発表（4月11日まで）
 3月 27日 県：飲食店に対し、営業時間短縮を要請（4月11日まで）
 4月 5日 山形県・山形市・山形商工会議所・山形市医師会共同記者会見
 「山形市における新型コロナウイルス感染症対策の徹底した取組みに向けた共同宣言」
 4月 9日 山形県・山形市「緊急事態宣言」の延長を発表（4月25日まで）
 4月 25日 山形県・山形市「緊急事態宣言」の解除を発表
 4月 25日 国：4都府県を対象として緊急事態宣言を発令（対象：東京都、京都府、大阪府、兵庫県）
 4月 25日 市：緊急事態宣言の発令に伴い特別措置法に基づく対策本部に移行
 5月 23日 国：緊急事態宣言の対象地域を10都道府県に変更（対象：北海道、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県、沖縄県）
 5月 28日 国：9都府県の緊急事態宣言について、6月20日までの延長を決定（沖縄県は発令当初から6月20日まで）

感染者の発生状況
 （令和3年6月10日現在）
 山形県内の感染者数 2,003人
 山形市内の感染者数 753人

※ 新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議は、これまで32回開催（令和3年6月10日現在）

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種への対応

【経緯】

- 令和2年10月23日 国：新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱制定
 12月 9日 国：予防接種法の一部改正（新型コロナウイルスワクチン接種を「臨時接種」と規定）
 令和3年1月 8日 市：「新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム会議」を設置
 1月12日 市：健康医療部保健総務課に新型コロナウイルスワクチン接種対策室を設置
 2月14日 国：ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンを薬事承認（16歳以上）
 2月17日 市：第1回新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム会議を開催
 2月19日 市：市医師会と定期ミーティングを開始
 3月 8日 市：済生館にて医療従事者の新型コロナウイルスワクチンの接種を開始
 3月15日 市：山形市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画（初版）を策定
 新型コロナウイルスワクチン・コールセンターを開設
 3月21日 市：新型コロナウイルスワクチン・コントロールセンターを開設
 3月24日 市：高齢者に新型コロナウイルスワクチンの接種券を送付
 4月12日 市：高齢者施設における新型コロナウイルスワクチン接種を開始
 4月20日 市：新型コロナウイルスワクチン接種実施医療機関に対する説明会を開催（4月21日にも同内容で開催）
 4月23日 国：希望する高齢者に7月末を念頭に各自治体が2回の接種できるよう、政府を挙げて取り組んでいく考えを示す
 5月12日 市：高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の第1期（5月26日～6月14日）の予約受付を開始
 5月21日 国：モデルナ社製とアストラゼネカ社製の新型コロナウイルスワクチンを薬事承認
 5月26日 市：高齢者の医療機関での新型コロナウイルスワクチン接種を開始
 市：高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の第2期（6月15日～7月31日）の予約受付を開始
 5月31日 国：ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンの対象年齢を引き下げ（12歳から15歳を追加）
 6月 1日 国：新型コロナウイルスワクチンの職域接種の開始について（事務連絡）
 6月 4日 山形市、山形県と山形大学医学部との新型コロナウイルスワクチン集団接種の実施に関する協定締結
 6月 8日 新型コロナウイルスワクチンの大規模な集団接種の実施に関する共同記者会見
 （山形市・山形大学・山形大学医学部・山形県看護協会・山形市薬剤師会）
 6月 9日 市：64歳以下の方への新型コロナウイルスワクチン接種券発送日と予約開始日を公表
 6月10日 市：山形ビッグウイングにおける大規模集団接種の予約受付を開始
 山形市と山形市医師会との新型コロナウイルスワクチン接種の実施に関する協定締結

※ 新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム会議は、これまで10回開催（令和3年6月10日現在）

発展計画2025の変更について

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、計画策定時には想定していなかった社会経済情勢の変化を踏まえ、新たに「感染症に強いまちづくり」と「アフターコロナにおける地方創生の推進」の2つの政策を追加。
- 山形市が、東京一極集中の是正に向けた受け皿となることを目指す。

感染症に強いまちづくり

●市有施設における感染症対策

施設整備改修方針を策定し、当方針に基づき市有施設における感染症対策に資する環境整備を行う。

●店舗等における感染症対策とキャッシュレス化の推進

飲食店などでの感染対策を目的とする改修への支援や、店舗やイベントなどでのキャッシュレス化を推進する。

●公共交通機関における感染症対策

路線バスにおけるＩＣカードの導入促進と山形駅東口バスブールの混雑回避のため、西口バスベイを整備する。

●感染症予防に係る正しい知識の普及・啓発

研修会やSNSなど、様々な機会や機能を活用し、感染予防に係る正しい知識の普及・啓発を行う。

アフターコロナにおける地方創生の推進

●スマートシティの推進

- ・企業や大学等と連携しながら、デジタル技術をまちづくりに活用するスマートシティを推進する。
- ・スマートシティの実現を担う、新たなイノベーションを生み出すデジタル人材の育成や育成環境を整備する。

●行政のデジタル化の推進

AIやICTなどの先進技術を行政事務や手続きに活用し、質の高い市民サービスの提供や利便性の向上を図る。

●移住・定着や企業誘致の推進

感染拡大に伴うテレワークの普及やオフィスの分散化に合わせた環境整備等を行い、移住・定着や企業誘致を推進する。

●動画による情報発信

動画による情報発信を行い、移住・交流・関係人口の拡大を図る。



市南部への児童遊戯施設整備事業

【背景と経緯】

- ・べにっこひろば（平成26年オープン）の混雑解消
- ・市全域における子育て支援機能をより強化
- ・山形市発展計画（平成27年）の重点施策「子育てしやすい環境の整備」の主要事業

【基本理念】

- ① 子どもたちが健やかにのびのび遊べる施設
- ② さまざまな体験ができる施設
- ③ 地域社会の交流の場となる施設

【整備の概要】

- ・所在 大字片谷地字谷地（約23,400㎡）
- ・屋内：大型遊戯場、体育館、多目的室、図書コーナー、視聴覚コーナー、子育て相談コーナー、休憩・飲食コーナー など
- ・屋外：建物正面広場、緑地・遊戯広場、駐車場（300台）
- ・設計、建設、運営、維持管理は、PFI法に基づき民間事業者（※）が行う。
※株式会社 夢の公園（代表企業：株式会社シェルター）

【スケジュール】

- 令和元年度 事業者決定、事業契約締結、設計業務
令和2年度 12月～建築工事 ※令和4年3月 オープン予定



文化創造都市の推進

■ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟

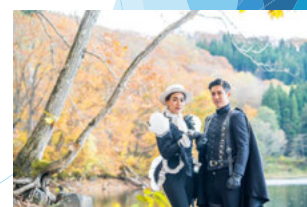
- ・創造都市の考えを推進するために、ユネスコが世界でもユニークな取り組みを行っている都市を7分野（①映画②デザイン③工芸④メディアアート⑤音楽⑥食文化⑦文学）で認定
- ・2017年10月31日、国内初となる映画分野での加盟が認定
- ・映画を基軸とし、多彩で豊富な地域資産を活用する視点で、「やまがた創造都市国際会議」、「クリエイティブ・カフェ」等の創造都市推進事業を実施

■山形国際ドキュメンタリー映画祭（YIDFF）

- ・1989年、市制施行100周年を記念し、アジア初のドキュメンタリー映画祭としてスタート
- ・2018年6月に米アカデミー賞公認映画祭となる（ドキュメンタリー部門で日本初）
- ・国内外から約200名のゲスト、22,000～25,000人の入場者数
- ・世界の秀作ドキュメンタリーの上映を通して、世界の多様性に触れ、文化芸術活動や国際交流を促進
- ・令和3年度開催日程 令和3年10月7日（木）から10月14日（木）

■フィルム・コミッションの充実

- ・平成30年度から文化振興課に事務局を移管し、創造都市推進事業と連動させながら展開
- ・令和2年度のロケ誘致実績は、約40件
- ・海外作品についても積極的に誘致支援し、今後のインバウンド振興に向けたPRを検討
- ・主な海外作品 タイドラマ「ダンドウアンハルタイ」ロケ地 蔵王温泉、文翔館 等
日台合作映画「越年Lovers」 ロケ地 蔵王温泉、西蔵王放牧場 等



市民会館の整備

- 【背景】・昭和48年の開館以来、市の文化芸術活動の拠点として、市民や文化団体の活動を支援し活発に利用されている。
- ・市民が優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供している。
 - ・施設、設備の老朽化により、近い将来建て替えが必要になっている。

【目的】 老朽化した市民会館を旧山形県民会館跡地に移転整備する。

【新市民会館の目指すべき姿】

- ①文化芸術活動の拠点の継承・発展
- ②賑わいの創出
- ③創造都市やまがたの推進
- ④周辺施設との調和
- ⑤感染症対策を備えた施設
- ⑥次世代ニーズへの対応
- ⑦災害への対応
- ⑧ユニバーサルデザイン・バリアフリー化

【施設概要】

大ホール（1,200席程度）、小ホール（300～400名）、スタジオ、会議室、交流ラウンジ、フィルムライブラリー、管理事務室 など

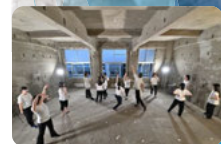
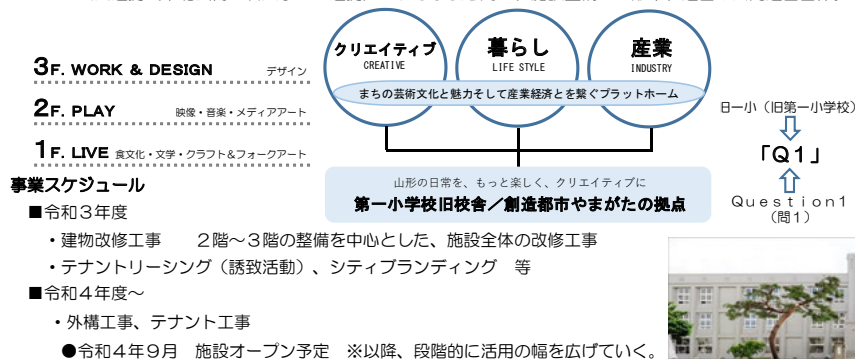
【スケジュール】

- 令和2年度 基本構想の策定
令和3年度 民間活力導入可能性調査（事業手法の検討・決定）
令和4年度～ 決定した事業手法により事業者の選定等



Q1プロジェクトの推進

- 概要**
- Q1プロジェクトは、創造都市の拠点施設として、山形まなび館（第一小学校旧校舎 昭和2年竣工 山形県下初の鉄筋コンクリート造）をリノベーションし、再活用する事業。
 - 令和4年9月のオープンを目指す。（施設名称：やまがたクリエイティブシティセンター・Q1）
 - 市の芸術、文化、産業、歴史、伝統などと、それを支える人々を貴重な地域資源と捉え、多くの人々と連携し磨き上げることで産業振興・観光振興・教育振興に活かし、新たな価値（事業、サービス、商品、人）を創造する「創造都市」の形成に取り組んでいく。
 - 公民連携（東北芸術工科大学との連携）による手法を用い、施設整備は山形市、運営は民間運営団体。



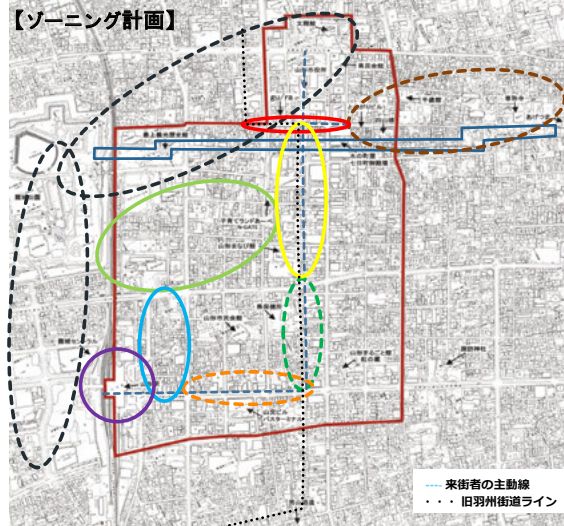
中心市街地グランドデザイン

1. 山形市中心市街地グランドデザイン 平成31年2月策定

- 【経緯】** ①中心市街地の人口減少
 ②インターネット等の普及による商業吸引力の低下
- 【目的】** 時代のニーズに合った新しい中心市街地の創造と価値の向上
- 【概要】** ①様々な分野における魅力向上

商業 居住 ビジネス環境
 観光 医療・福祉・子育て 文化芸術

- ②エリアマネジメントの考え方の導入
 【戦略的計画ゾーン】（実線記載）
- 観光情報発信推進ゾーン
 - 商業強化・居住推進ゾーン
 - リノベーション強化ゾーン
 - オフィス誘致・商業強化ゾーン
 - 医療福祉・居住・子育て推進ゾーン
 - 戦略的景観構築ブロック（御殿堀修復エリア）
- 【方向性認定ゾーン】（点線記載）
- 居住・誘客推進ゾーン
 - 商業補完・誘客推進ゾーン
 - 歴史・文化推進ゾーン
 - 料亭文化ゾーン



御殿堀を活かしたまちづくり ①

■市道霞城公園東幹線御殿堀景観整備事業（令和3年3月完成）

●歴史・文化的資源である御殿堀の整備前の状況

- 「山形市中心市街地グランドデザイン」では、御殿堀沿いを「歴史・文化推進ゾーン」に位置付けている。
- 市道霞城公園東幹線は、観光拠点である霞城公園や文翔館などを結ぶまちなか観光ルートの導線上に位置し、御殿堀が横断している。



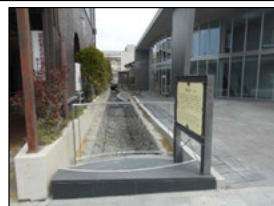
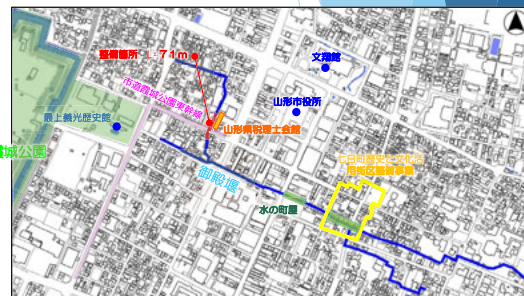
●御殿堀を活用した中心市街地の魅力向上と文化創造都市の推進

- 御殿堀をまちなか観光の有益なコンテンツとして活用。
- 風情があり、景観性の高い空間を形成することで、シンボル性を創出。
- 歴史的価値の保全と、来訪者への積極的情報発信。
- 御殿堀の各箇所と関連性や連続性を持たせ、歩いて楽しめるまちなか観光の魅力創出。



●具体的な取り組み

- 御殿堀の石堤化による景観性や耐久性の向上と歴史的資源の保全。
- 解説版や標識設置などによる「御殿堀」の情報発信。
- 屋外で、人が集える空間の創出。（山形県税理士会館との連携）



御殿堰を活かしたまちづくり ②

■ 七日町歴史と文化活用街区整備事業

- 当該地区の特徴と現状
 - 令和3年度から、当該地区内の街路事業（環防町七日町線・香澄町七日町線）に、本格的に着手。
- 街区整備を行うことで魅力あるまちづくりを実施
 - 御殿堰の沿道整備などにより、回遊性の向上とまちの魅力向上。
 - 歴史的建造物周辺の敷地整序などにより、歴史・文化的な景観の形成。
 - 商売意欲が高く、当該地区に残留を希望する方の再建を支援。

※柔軟な事業手法の適用

- 前例に囚われず、地権者のニーズに合わせた柔軟な事業展開。
- 区画整理方式を活用した「沿道整備街路事業」を適用。

◆ 御殿堰（東西文化軸、せせらぎの道による回遊性の向上）

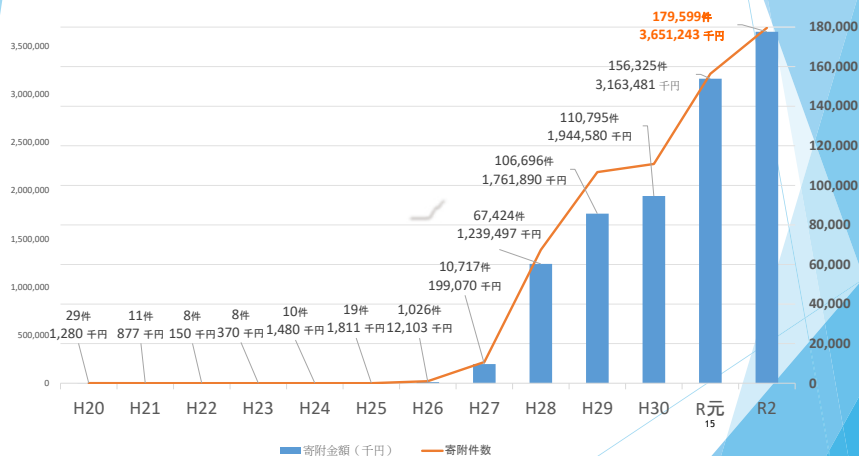


◆ 四山楼（科学の雰囲気づくり）



ふるさと納税

■ 山形市ふるさと納税寄附金額の推移（単位：千円）



さらなる産業団地の確保

■ （仮称）山形北インター産業団地開発事業について

【事業の背景】

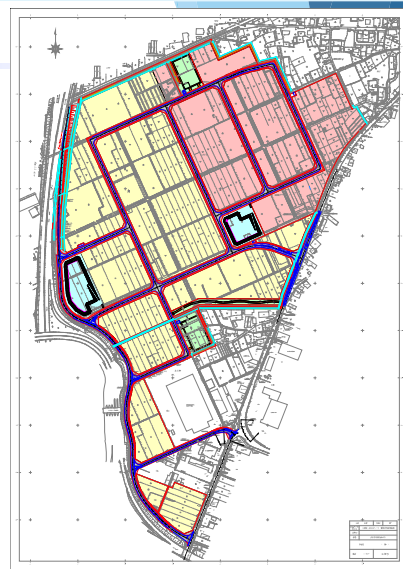
- 山形中央インター産業団地が平成30年12月に分譲完了。市内の産業団地において提供できる分譲地がない状況。
- 産業の活性化と魅力ある雇用機会の創出には、企業誘致や市内企業の業務拡大による移転拡充の受け皿として、さらなる用地の確保が必要。

【事業の内容】

- 山形自動車山形北IC北東側の寺西地区周辺を最終候補地として選定。
- 令和2年5月に「基本計画」を策定。早期開発に向けて西側区域から先行整備する計画。
- 令和2年度実施の「基本設計」を受け、令和3年度は「実施設計」「用地測量」「物件調査」等を行う。

【想定スケジュール】

- 令和4年度⇒農振除外・地区計画の策定・農地転用等
- 令和5年度⇒用地買収
- 令和6年度⇒造成工事開始



その他 ・ 道の駅整備事業 ・ 国道112号 山形中山道路

○ 本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	55名		34名	
前回修正				

※本日の結果は2週間後に報告 ※修正は2週間前の結果報告
出席会員数÷算出会員数＝出席率
算出会員数とは？ 出席義務会員＋メイク免除会員の出席者
出席会員数とは？ 出席義務会員の出席者＋メイク免除会員の出席者＋メイク会員